



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年2月12日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052)222-8202
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	2,165	△47.9	△299	-	△312	-	△324	-
31年3月期第3四半期	4,152	819.1	427	-	415	-	353	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	△65.09	-
31年3月期第3四半期	71.03	-

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、前事業年度(平成31年3月期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、平成31年3月期第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	6,989	4,614	66.0
31年3月期	7,605	4,938	64.9

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 4,614百万円 31年3月期 4,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	-	-	-	0 00	0 00
2年3月期	-	-	-	-	-
2年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 令和2年3月期の配当予想につきましては、現状未定であります。

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△40.6	△240	-	△260	-	△285	-	△57 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2年3月期3Q	4,984,500株	31年3月期	4,984,500株
2年3月期3Q	5,124株	31年3月期	5,074株
2年3月期3Q	4,979,386株	31年3月期3Q	4,979,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成30年4月の新劇場開場から2年目となり、4月には「陽春花形歌舞伎」が行われました。また、5月には「ミュージカル 笑う男」、「雪まろげ」、「水森かおり特別公演」、「石川さゆりコンサート2019」、6月には「ミュージカル レ・ミゼラブル」、「ファンタスティックライブ2019」、7月には「前川清特別公演 杜このみ特別出演」、「夏休み!! 吉本新喜劇&バラエティ公演」、8月には「音楽劇 トムとジェリー 夢よもう一度」、「ブロードウェイミュージカル ピーターパン」、「志村けん一座 第14回志村魂〜一姫二太郎三かぼちゃ〜」、「ブラックorホワイト? あなたの上司、訴えます!」、9月には「坂東玉三郎 御園座特別舞踊公演」、「きん枝改メ 四代 桂小文枝 襲名披露公演」、「天童よしみコンサート2019」、「蘭RAN」、「九月新派公演」、10月には「第五十回記念 吉例顔見世」、「ストーリー・オブ・マイ・ライフ」、11月には「渦が森団地の眠れない子たち」、「細川たかし特別公演 ダチョウ倶楽部一座旗揚げ公演」、「虎者-NINJAPAN-」、「組曲虐殺」、12月には「よしもと爆笑公演」、「ダンス オブ ヴァンパイア」、「加藤登紀子ほろ酔いコンサート2019」が行われました。

前年同期においては、平成30年4月の新劇場開場を受け、4月には、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」、5月には「スーパー歌舞伎II ワンピース」、6月には「滝沢歌舞伎2018」と、ほぼ1ヶ月間連続で行う公演が3ヶ月連続で行われたことを主因に、前年同期の当社主催公演回数は325回でしたが、当第3四半期累計期間の当社主催公演回数は269回（前年同期比△17.2%）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、21億6千5百万円（前年同期比△47.9%）となりました。売上高の減少を反映し、利益面では、営業損失2億9千9百万円（前年同期は営業利益4億2千7百万円）、経常損失3億1千2百万円（前年同期は経常利益4億1千5百万円）、四半期純損失3億2千4百万円（前年同期は四半期純利益3億5千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、10億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ4億4千4百万円の減少となりました。この主な要因は、未収還付法人税等を含むその他流動資産が6千9百万円増加したものの、現金及び預金が5億2千8百万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、59億5千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億7千万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が9千1百万円、機械及び装置が5千4百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、69億8千9百万円となり、前事業年度末に比べ6億1千5百万円の減少となりました。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、6億1千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億3千5百万円の減少となりました。この主な要因は、前受金が8千4百万円、買掛金が1千6百万円増加したものの、未払法人税等が1億4百万円、未払消費税等を含むその他流動負債が7千2百万円、未払金が5千5百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、17億5千9百万円となり、前事業年度末に比べ1億5千5百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が1億5千万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、23億7千5百万円となり、前事業年度末に比べ2億9千1百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、46億1千4百万円となり、前事業年度末に比べ3億2千3百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が3億2千4百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の業績予想につきましては、令和元年11月8日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,205,846	677,666
売掛金	235,879	249,022
貯蔵品	2,327	4,011
その他	34,003	103,096
貸倒引当金	△889	△739
流動資産合計	1,477,168	1,033,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,818,681	2,727,597
機械及び装置(純額)	889,057	834,735
土地	2,124,656	2,124,656
その他	188,052	169,188
有形固定資産合計	6,020,447	5,856,177
無形固定資産		
投資その他の資産	50,502	44,118
投資有価証券	38,291	38,947
その他	18,669	17,694
投資その他の資産合計	56,960	56,641
固定資産合計	6,127,910	5,956,937
資産合計	7,605,078	6,989,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,642	132,439
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	83,432	27,676
未払法人税等	104,212	-
前受金	142,654	227,632
賞与引当金	7,500	2,700
その他	98,001	25,463
流動負債合計	751,444	615,912
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,450,000
繰延税金負債	252,198	262,389
退職給付引当金	19,591	9,749
その他	43,833	37,536
固定負債合計	1,915,622	1,759,676
負債合計	2,667,066	2,375,588

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	560,704	236,619
自己株式	△39,476	△39,674
株主資本合計	4,930,787	4,606,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,223	7,903
評価・換算差額等合計	7,223	7,903
純資産合計	4,938,011	4,614,408
負債純資産合計	7,605,078	6,989,996

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	4,152,722	2,165,468
売上原価	3,519,494	2,263,042
売上総利益又は売上総損失(△)	633,227	△97,574
販売費及び一般管理費	205,678	202,204
営業利益又は営業損失(△)	427,548	△299,778
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,323	1,467
保険返戻金	1,343	-
受取保険金	2,961	-
その他	424	1,486
営業外収益合計	6,053	2,954
営業外費用		
支払利息	17,045	15,242
その他	707	780
営業外費用合計	17,752	16,023
経常利益又は経常損失(△)	415,849	△312,846
特別損失		
投資有価証券評価損	636	-
特別損失合計	636	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	415,213	△312,846
法人税、住民税及び事業税	76,107	1,022
法人税等調整額	△14,589	10,215
法人税等合計	61,518	11,237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	353,694	△324,084

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。